

# 大磯の災害

## 噴火

いそべえとあおみちゃんは、今から100年ほど前の明治、大正、昭和初期の時代からタイムスリップしてきたアオバトのカップルです。2人は昔から経験してきた地震や台風の怖さは知っていますが、火山の噴火は経験したことがありません。災害の中でも恐ろしい火山の噴火。大磯で起きた噴火の被害を調べてみることにしました。



いそべえ



あおみ

## 火山の噴火



自然災害の中で恐ろしいのは火山の噴火だべえ。



でも、いそべえ、大磯に火山はないわよ。



町の中に火山がなくても、近くには箱根山や富士山があるべえ。火山から噴き出る砂（火山灰）が飛んできたことは、今までに何回もあるべえ。



そうか。このあたりは、箱根山、富士山、伊豆大島、浅間山…、近くの火山が噴火すると、火山灰が積もることはあるわね。

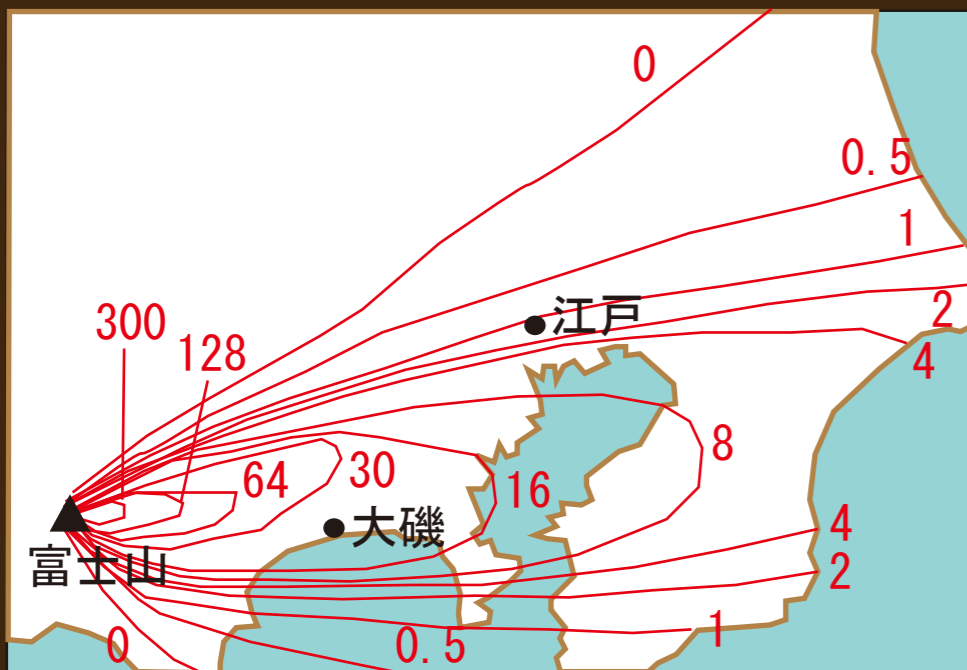
### 大磯周辺の活火山



活火山とは、「概ね過去1万年以内に噴火した火山及び現在活発な噴気活動のある火山」と火山噴火予知連絡会が定義するもの。『日本活火山総覧』第4版に掲載されているものを表示した。

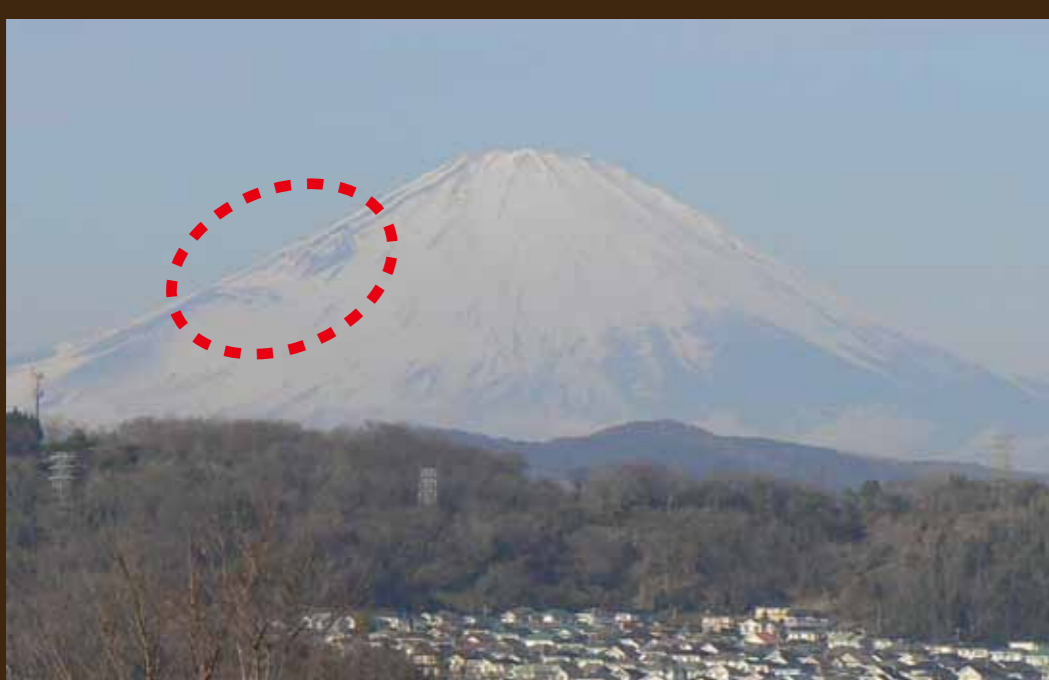
## 富士山の宝永噴火

火山灰などが積もった地域



単位はcm。  
※『日本歴史災害事典』p.223 図1をもとに作成

大磯から見える宝永噴火口



2013年1月に、県立大磯城山公園展望台から撮影。



富士山は江戸時代に大きな噴火が起きたんだべえ。宝永4年11月23日（西暦1707年12月16日）午前10時頃、富士山南東の斜面が噴火したべえ。噴火は16日間も続いたんだべえ。



火山灰は静岡県から遠くは茨城県まで降ったのね。富士山の活動の中でも最大規模の噴火だったみたい。



ふもとの静岡県の村々には噴出物が2m以上積もって、多くの家屋がつぶされ、熱によって火災が発生したべえ。火山灰などが積もった地域は、麦などの作物が収穫できなくなったり、河川が氾濫しやすくなったりする被害が出たんだべえ。